

— 「唐桑高田道路」初 —
気仙トンネル(仮称)の貫通式のお知らせ

三陸沿岸道路「唐桑高田道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして一日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めております。

この度、唐桑高田道路では初のトンネル貫通となる「気仙トンネル(仮称)」にて、貫通式を執り行うこととなりましたのでお知らせ致します。

貫通式では、陸前高田市長をはじめ、気仙小学校など地元の皆様をお招きし、貫通をお祝いしていただきます。

1. 日 時：平成28年 1月22日(金) 10:00～
2. 場 所：陸前高田市気仙町字荒川地内 【別紙-1参照】
気仙トンネル起点坑口部
3. 主 催：国道45号気仙トンネル工事 鉄建建設株式会社 東北支店
4. 内 容：「気仙町けんか七夕太鼓」気仙小学校(6年生児童)約20名
挨拶(発注者、施工者)
来賓祝辞(陸前高田市長) など

注) 現地付近では、施工者の係員が案内・誘導いたします。

(参考) 唐桑高田道路の主な整備効果【別紙-2参照】

効果①：緊急輸送道路の信頼性確保

効果②：迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与

効果③：高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援

効果④：漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待

効果⑤：三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

【発表記者会】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ、気仙沼記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

【貫通式や施工内容に関するお問い合わせ】

鉄建建設株式会社 東北支店 気仙トンネル作業所

〒029-2203 陸前高田市竹駒町字相川142-6 (代表) 電話：0192-22-7180

現場代理人 まつ やま てつ や
松 山 哲 也

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶴住居町第13地割1-4 (代表) 電話：0193-28-4731

副 所 長 やま ぐち みつる
山 口 満 (内線204)

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>



参加される方の駐車場は、トンネル坑内に用意しております。
現地付近では、施工者の係員の案内・誘導に従い進んで下さい。

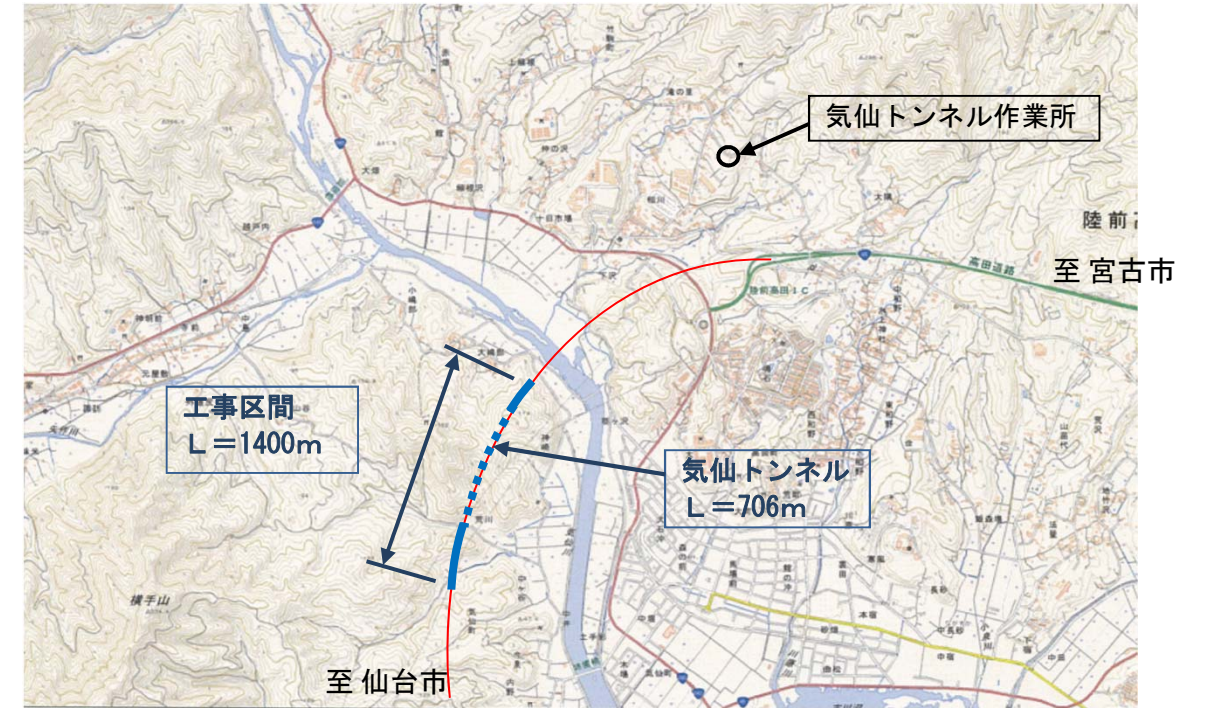
三陸沿岸道路 唐桑高田道路 事業概要

- 国道45号三陸沿岸道路（唐桑高田道路）は、宮城県気仙沼市唐桑町館（唐桑北IC（仮称））から岩手県陸前高田市竹駒町相川（陸前高田IC）を結ぶ延長10.0kmの自動車専用道路です。
- 広域的で災害に強い道路ネットワークを形成し、地域経済の活性化、災害時の避難路、救援道路、緊急輸送路としての代替機能の確保を主な目的としています。
- 本工事は、唐桑北IC（仮称）～陸前高田IC区間の岩手県内L=8.0kmのうち気仙トンネルL=706mを施工する工事です。

唐桑高田道路路線概要図



現場位置図



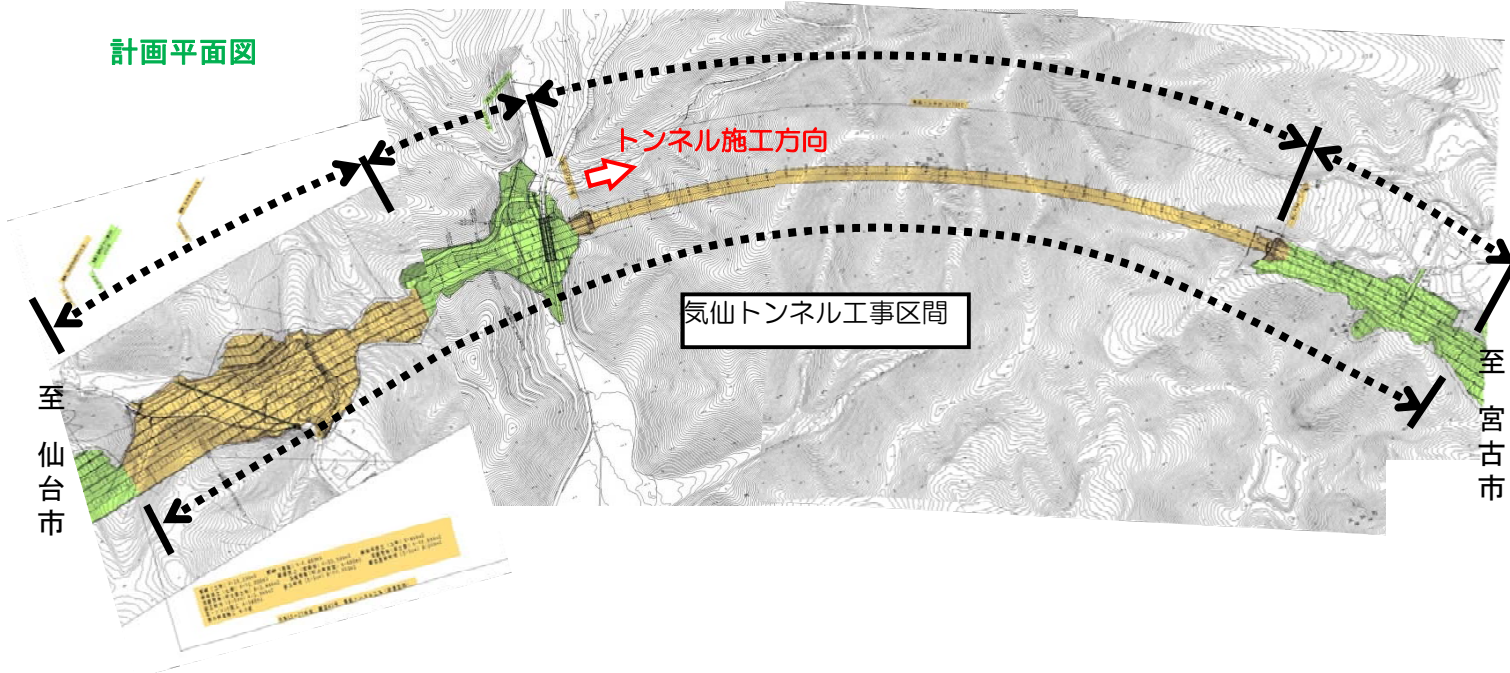
気仙トンネル工事 工事概要

1. 工事名 : 国道45号気仙トンネル工事
2. 工事場所 : 岩手県陸前高田市気仙町荒川沢～矢作町大嶋部地内
3. 工期 : 平成26年2月13日～平成28年3月25日
4. 請負金額 : ￥2,290,896,000 (内消費税 ￥169,696,000)
5. 発注者 : 国土交通省 東北地方整備局
6. 請負者 : 鉄建建設株式会社
7. 工事内容 : 気仙トンネル本体、道路土工一式、函渠工等
8. 掘削開始 : H26.12～ (約1年で貫通を迎えた。)

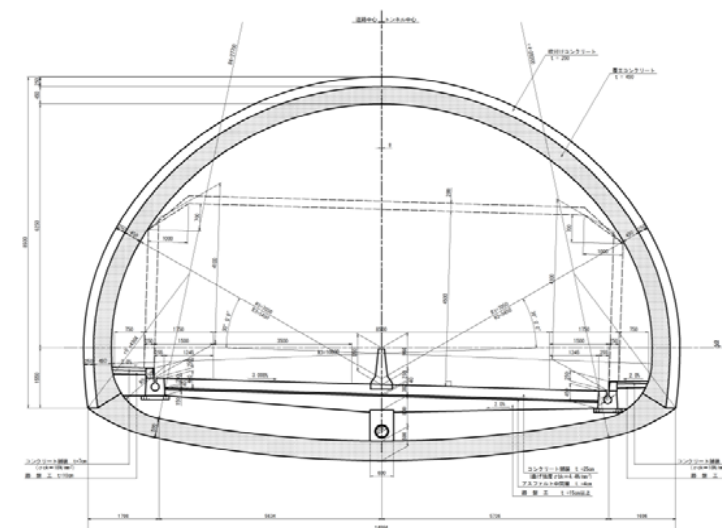
トンネル諸元

延長 : L=706m
 幅員 : W=8.5m (上下各1車線)
 勾配 : i=1.127%
 掘削方法 : NATM工法 発破掘削 (補助ベンチ付き全断面工法)
 最大土被 : 約95m

計画平面図



標準断面図



着手



H27年12月





緊急輸送道路の信頼性確保

- 三陸沿岸道路は、津波浸水区域を回避、または高さのある橋梁で通過できるように整備します。
- 災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

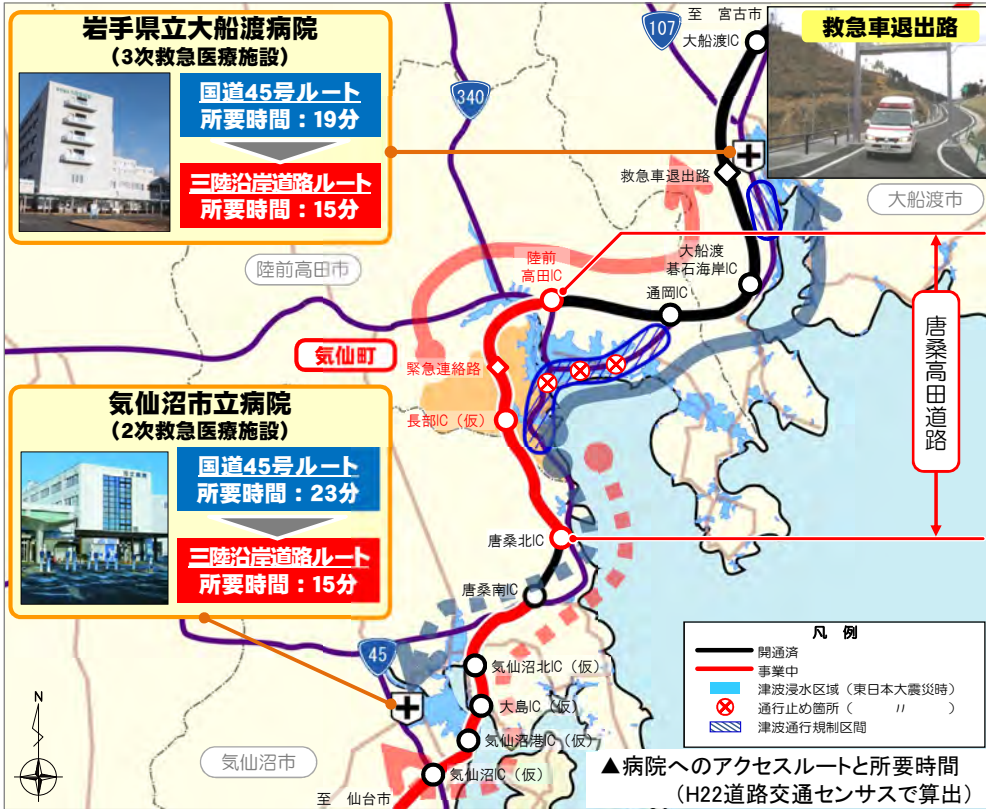


▲震災時と通常時の大船渡～気仙沼間のルートと所要時間の違い (H22道路交通センサスで算出)

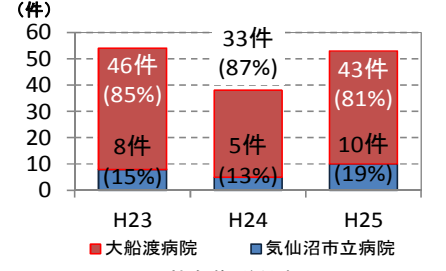
▲仮復旧で対応している気仙大橋

迅速な救急搬送と安全・安心な住民生活に寄与

- 迅速な救急活動を支援し、地域の皆様が安全・安心して暮らせる地域づくりに寄与します。
- 緊急連絡路の整備により通行止め区間を回避でき、災害時における救急活動も支援します。



◇大船渡病院・気仙沼市立病院の2病院への時間短縮が期待される。
 ◇また、災害時などの病院間の連携支援も期待される。

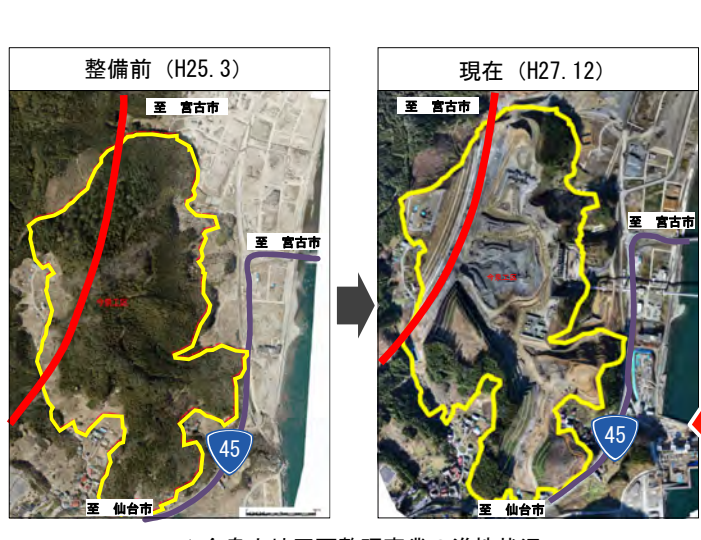


- 災害時、遠回りせず病院へ搬送できる。
- 大船渡・気仙沼、2つの病院への時間短縮が期待できる。



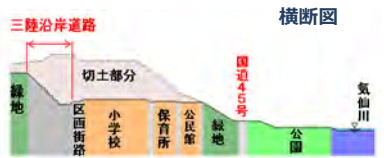
高台移転との一体整備、「復興まちづくり」を支援

- 陸前高田市の高台移転計画と道路整備を一体的に行い、復興まちづくりを支援します。
- 三陸沿岸道路に緊急連絡路を設けることで、災害に強い安全なまちづくりに貢献します。



資料：陸前高田市ホームページ (H27.12現在)

- 津波の影響で孤立する地域があった。
- 緊急連絡路ができることで、地域の孤立を防ぎ、安心した暮らしが提供できる。



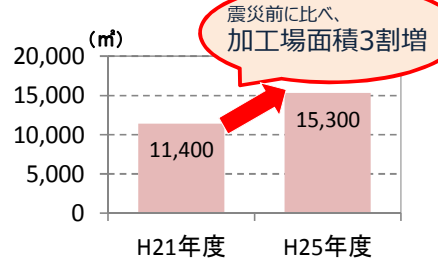
▲ベルトコンベアを使い事業を推進

漁業・水産加工業の復興に寄与、産業活性化に期待

- 漁業・水産加工業の再建が進み、水産加工団地の工場が平成25年から稼働開始。
- 都市圏へのアクセス向上・時間短縮に伴い、商圈の拡大・生産性向上等、産業活性化に期待。



- ◇ 震災前より水産加工場の面積が3割増加し、生産体制が強化。
- ◇ 輸送時間の短縮により、商圈の拡大、生産工程が改善され、生産性の向上も期待される。



▲ 復興が進む長部地区の水産加工団地 (背後地)

- 三陸沿岸道路の整備により **商圈の広がり、新たなビジネスの展開** ができることを期待している。



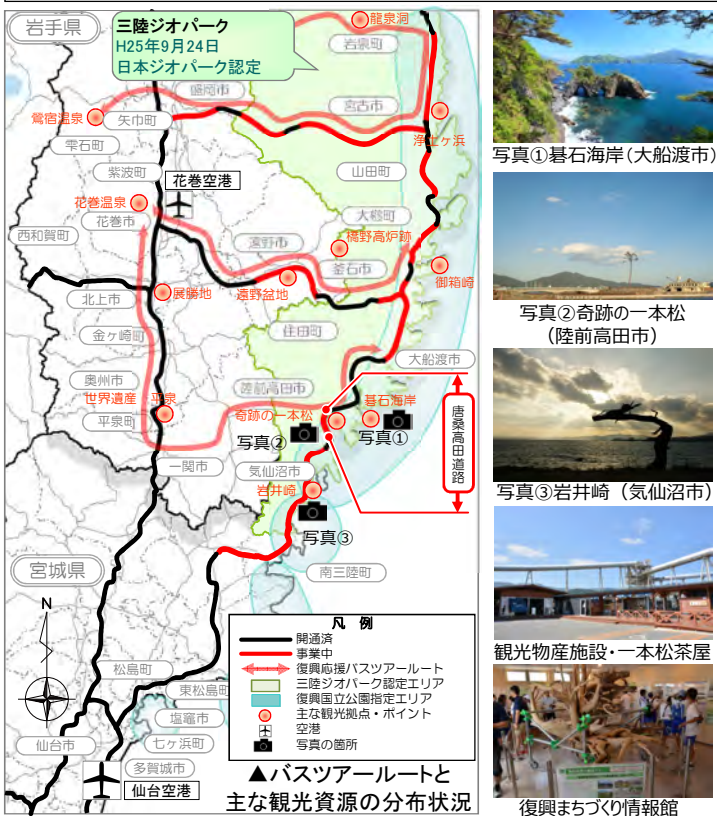
- 陸前高田と気仙沼に **拠点** が分かれているため、**道路整備により生産効率の向上** が期待される。



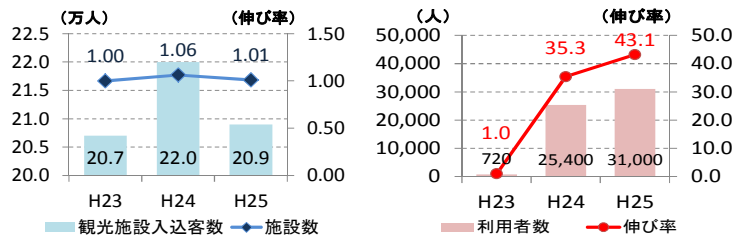
▲ 長部地区～仙台の所要時間の変化
資料：ヒアリング調査より搬送ルートを確認 (長部～仙台市中央卸売市場) H22道路交通センサスで算出

三陸沿岸部のネットワーク形成により、観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在している。
- 新たな観光施設がオープンし、道路整備による周遊ルートの形成で観光振興への期待が高まっている。



- ◇ 「被災地視察」から「復興現場視察」へ、来訪目的が変化。
- ◇ 復興が進むにつれ、観光拠点を周遊する方も増えており、道路整備により観光振興に寄与することが期待される。



▲ 陸前高田市観光施設入込客数

▲ 震災視察ガイド利用者数
資料：陸前高田市商工観光課提供データ

- 「一本松茶屋」がオープン (H26.8) してから、**観光物産品の売上げが大幅増加** した。
今後、防災教育等のツアーを企画し、誘客 したい。



- 復興現場や観光拠点を周遊する観光が増加。
- 気仙沼と陸前高田の **2地域** をまたいだ **観光需要の創出** に期待している。

